

キャラクター名 フレデリカ=アブグルンド	プレイヤー名
-------------------------	--------

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[土、銀+2]		
生まれ	傭兵	性別	女性	年齢	427
冒険者Lv	13	経歴			
経験点	2020				

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	10	24		41 + 1	7		ファイター		13
体	15	敏捷度	8	2		17	2	ソーサラー	2	アルケミスト	5
		筋力	3	22		40 + 1	6	コンジャラー	2	ウォーリーダー	10
心	8	生命力	6	9		30	5	マジテック	1		
		知力	11	7		26	4	スカウト	7		
		精神力	11	3		22	3	レンジャー	9		

戦闘特技			
タフネス	2122p	命中強化	2-230p
バトルマスター	3143p	スローイング	2-228p
トレジャーハント	2120p	武器の達人	3-212p
ファストアクション	2123p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
武器習熟A/投擲	1-281p		p
武器習熟S/投擲	1-281p		p
両手利き	1-283p		p
露払い	OP135p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
アンチボディ	ヒールスプレー
キャッツアイ	イニシアティブブースト
マッスルベアー	陣率：軍師の知略
ビートルスキン	神展の構え
スフィンクスノレッジ	怒涛の攻刃Ⅰ
ジャイアントアーム	陣率：効力亢進
デーモンフィンガー	陣率：効力亢進Ⅱ
リカバリィ	陣率：掃討の勝鬨
スケイルレギンス	怒涛の攻刃Ⅱ
バルーンシードショット	怒涛の攻刃Ⅲ豪炎
ジプロフェシー	怒涛の攻刃Ⅳ輝焰
パークメール	傷痕の見立て
ヴォーパルウェポン	
クリティカルレイ	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	13	20	15	19
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 マナタイト加工の重いつきまとうドントレシアの堅忍鎧		22		8
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	ファイター			合計値
				15 10

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
定まらないエクレール	1H投	7	1	2d+ 23	9	23	27										
発動体加工済み アビス強化C-1																	
病弱なトライエッジ	1H投	15	1	2d+ 3	9	4	35										
発動体加工済み アビス強化C-1																	
ウォーターバルーン	1H投		1	2d+ 3	13	3	0										
ディフェンダー	1H	12		2d+ 22	10	19	17										
防護点+1 発動体加工				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	17 m	51 m

回避	防護点
2d+ 15	10

HP
84

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	2	6			
操霊魔法	2	6			
深智魔法	2	6			
魔動機術	1	5			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 12

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 16

MP
37

装備品	説明
頭 軍師徽章	
耳 ラル=ヴェイネの金鎖	
顔 アイソアーマスク	
首 奇跡の首飾り	
背中 ウェポンホルダー改	
右手 能力増強の指輪<筋力>	
腰 ブラックベルト	
足 水蜘蛛のサンダル	
その他マジスフィア大	

装備品	説明
アルケミーキット	
野伏せのセービングマント	
左手 能力増強の指輪<器用>	

その他メモ	自動失敗 チェック
兵士2/武器職人5/家政婦1/理髪師1/娼婦1	
深海都市テホームにおいて比較的上流階級に産まれたものの早いうちに家族を亡くし、後盾を無くした為に兵士となっていた女性。	□□□□⑤
追い遣られる形ではあったものの、本人としても煩わしい政争に巻き込まれるよりも体を動かし身の回りの数少ない友人を守るほうが性に合っていた為か	□□□□⑩
特に扱い等への不満は無く、むしろとある時期までは楽しくやっていた。	□□□□⑮
その"とある時期"から人との関わりを避けるようになり、深海都市テホームから地表へ送り出されるまでの間、必要最低限の付き合い以外は一人で居ることが多かった。	□□□□⑳
地表に出てからは力を求めるように戦いに明け暮れていた時期などがあったものの、長い時の中で自分の限界を知り自墮落に陥った時期などを経て今はすっかり隠遁生活。	□□□□㉕
これ以上は望めない武を補うように山奥に構えた工房で武器に細工をしたり、時々武器を卸に人里を訪れる等して日々を過ごしている。	□□□□㉙
鍛冶屋で修行を積んだなどという事はなく、昔から小器用だった為武器を自作などしていたのがきっかけである。	□□□□㉚

